



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「あこがれのパティシエ～好きな道を歩む」

## ★今回の道徳の授業のねらい

自分の個性や長所を知り、それを積極的に伸ばして将来に生かしていこうとする意欲を育てる。

## ★お話のあらすじや内容について

パティシエである遠藤さんが「一人前のケーキ職人になりたい」という夢を実現させるためにしてきたことや、その時の思いが紹介されています。遠藤さんの「ケーキをつくるのが大好き」という気持ちや「人を喜ばせてあげたい」という気持ちに共感することを通して、自分の長所を将来に生かしていきたいという思いを高めようとする心情を育てると共に、児童の職業観の育成にもつなげていくことができる内容です。

## ★児童のふり返り

- ◎自分の長所はあまり思い浮かばないので、増やして将来に生かしたいです。
- ◎自分には悪いところしかないかと思っていたが、グループの人たちに自分の良いところを書いてもらって新たな自分に気づくことができた。
- ◎短所をどんどん直していき、自分の長所をたくさん見つけるようにしていきたい。
- ◎遠藤さんに負けないくらい自分や友達には長所があった。遠藤さんのように自分の良いところをたくさん身に付けられるようにしていきたい。

## ★家庭で話し合ってもらいたいこと

子どもは自分の個性や長所のいくつかに気づき、それを意識するようになってきます。また、中にはその長所になかなか気付くことができない子もいます。それと同時に、その個性や長所を他者とくらべようとする傾向があります。また、「自分はこうありたい」とか「自分をこのように成長させたい」というような理想をもつことができるようになります。理想は変わることもありますが、今現在、一つの理想に向かっているということは、目標がたとえ変わってもそこでやっていた努力は必ず役に立つものだと思います。お子様の長所ってどんなところでしょうか。その長所を生活や将来の夢や目標に少しでもつなぐことができればよいのではないかと思います。ご家族で、いいところを伝え合い、認め合うのもよいかもしれませんね。